

質問回答

2017年4月17日

「バングラデシュ国沿岸部及び内陸河川部における船舶事故・災害救助体制強化計画準備調査」

(公示日:2017年4月5日/公示番号:170111)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	「業務指示書」 第2 「調査の目的・内容に関する事項」 2. プロジェクトの概要、(3)プロジェクトの概要	<p>要請の内容として、全長約20mの救助艇4隻に加えて、全長約9mの救助艇(20隻)と記載されています。</p> <p>一方、貸与された資料の「無償資金協力要請書」には、Rescue Boatsとして、“Single outboard engine”10隻、Twin screw inboard diesel engine”10隻の記載があります。</p> <p>全長約20mの救助艇を含めて計3種類の船艇が求められているのでしょうか。或いは、20隻の救助艇は同一船種として計2種類で良いのでしょうか。</p>	<p>船艇の推進システムについては、現時点では確定しておりません。20隻を同一の船種とするのも選択肢の一つです。2016年4月に現地を訪問した限りでは、要請書に10隻ずつと記載しているものの、実際のところこれにとらわれる必要はないとの印象でした。現地でのニーズを踏まえて先方と協議し、供与する船艇の推進システムを決定していただければと思います。</p>
2	「業務指示書」 第2 「調査の目的・内容に関する事項」 6. 業務の内容、(6)サイト状況調査 および 第3 「業務実施上の条件」 6. その他の留意事項 (2)安全	<p>1)項(5頁)で、Mongla PortとPayra Portの2港の現地調査による状況確認が求められています。</p> <p>一方、バングラデシュ国における安全対策に十分な注意を払うことが必要とされています。</p> <p>Mongla PortとPayra Portへの移動手段として貴機構で安全上の観点から推奨される手段、ルートはあるのでしょうか。</p>	<p>モングラ港の場合、飛行機でダッカからジョソール空港に移動し、そこから車で移動していただくこととなります。パイラ港の場合、飛行機でダッカからポリシャル空港に移動し、そこから車となります。推奨しているレンタカー業者は特にありません。</p>

	管理	また、現地での移動にレンタカーが必要な場合、安全上推奨される業者はあるでしょうか。	
3	「業務指示書」 第3「業務実施上の条件」 4 . JICA からの参加団員の構成 と現地調査行程(案)	<p>(1) 第一回現地調査(11頁)によれば、JICAの団員お二人は約5日間の調査の後、現地調査にはご同行されない予定です。</p> <p>現地調査を効果的に行うため、及びその後の本調査業務を的確に進めるために、JICA 団員が御帰国後の6日目頃から、1日目からの派遣者2名に加えて、業務従事予定者の残り3名を追加派遣することはお認めいただけるでしょうか。</p>	<p>現地警察による警備の都合上、同時に滞在できる人数は5人までと制限されておりますが、5人を超えない範囲での現地調査中の入出国は問題ありません。ただ、海上保安庁から参团する技術参与には、サイト視察へも同行していただきたいと考えておりますので、ご提案の行程では合計人数が6人になってしまうかと思えます。現地警察との協議結果によっては5人に減らすことを求められる可能性もあります。</p>

以上